



ボランティア かわらばん

編集発行 ながのボランティアかわらばん編集委員会



児童虐待防止月間 特別企画

子どもたちを 虐待から守るために



11月は児童虐待防止月間です。児童虐待の記事やニュースが連日のように流れています。専門機関や民間団体から児童虐待の現状や対策をお聞きし、私たちができることを考えたいと思います。

児童虐待とは？

親または親に代わる者で子どもを現に監護している者が、子どもに対して身体的に危害を加えたり、適切な保護や養育を行わないことなどによって、子どもの心身を傷つけ、健やかな成長・発達をそこなう行為のことをいいます。

虐待の種類は？

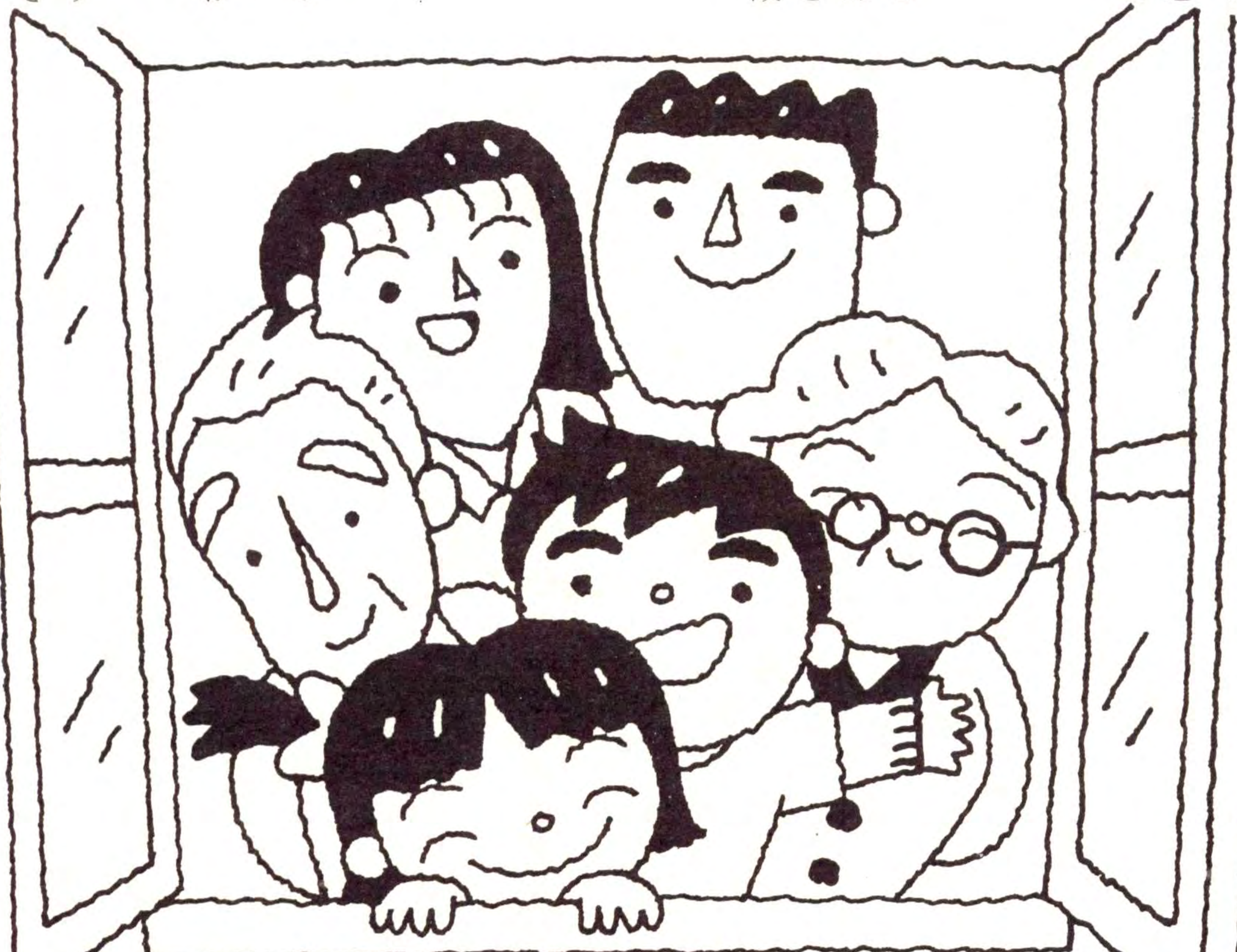
身体的虐待

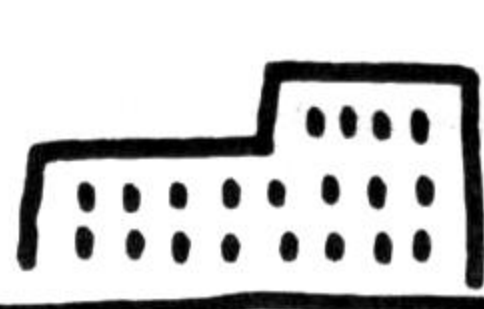
身体に傷を負わせたり、生命に危険を及ぼすような行為。

- 打撲傷、あざ（内出血）、骨折、頭部外傷、たばこによる火傷などの傷害を生じさせる。
- 首を絞める、殴る、蹴る、投げお

- 落とす、熱湯をかける、溺れさせる、逆さつりにさせる、異物を飲ませる、

- 冬に戸外に締め込め、縄などにより身体を拘束する、頭部を激しく揺さぶるなどの生命に危険を及ぼす行為





性的虐待

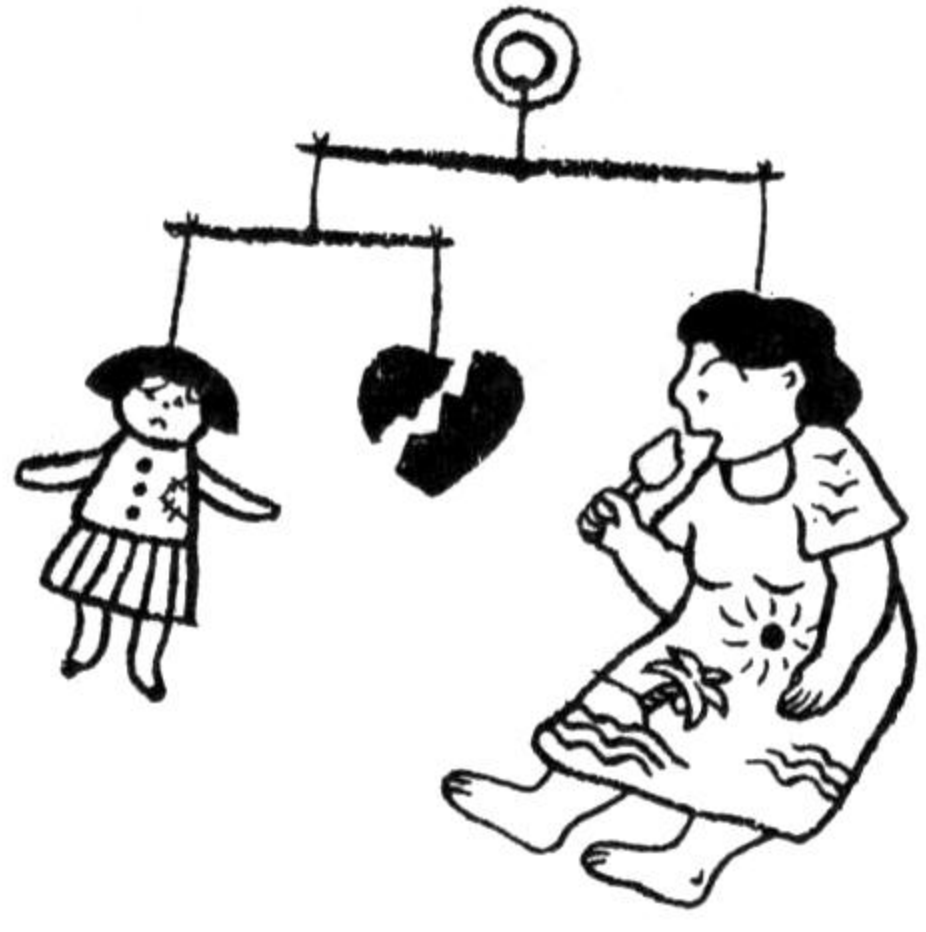
子どもにわいせつな行為をするこ
と、させること



- 子どもへの性交、性的暴行、性的行為の強要、教唆など
- 性器や性交を子どもに見せる行為
- 子どもにポルノグラフィの被写体になることを強要

ネグレクト

子どもの心身の健やかな発達をそ
こなうなどの不適切な養育、監護の
怠慢、あるいは、子どもの安全に対
する重大な不注意や無関心

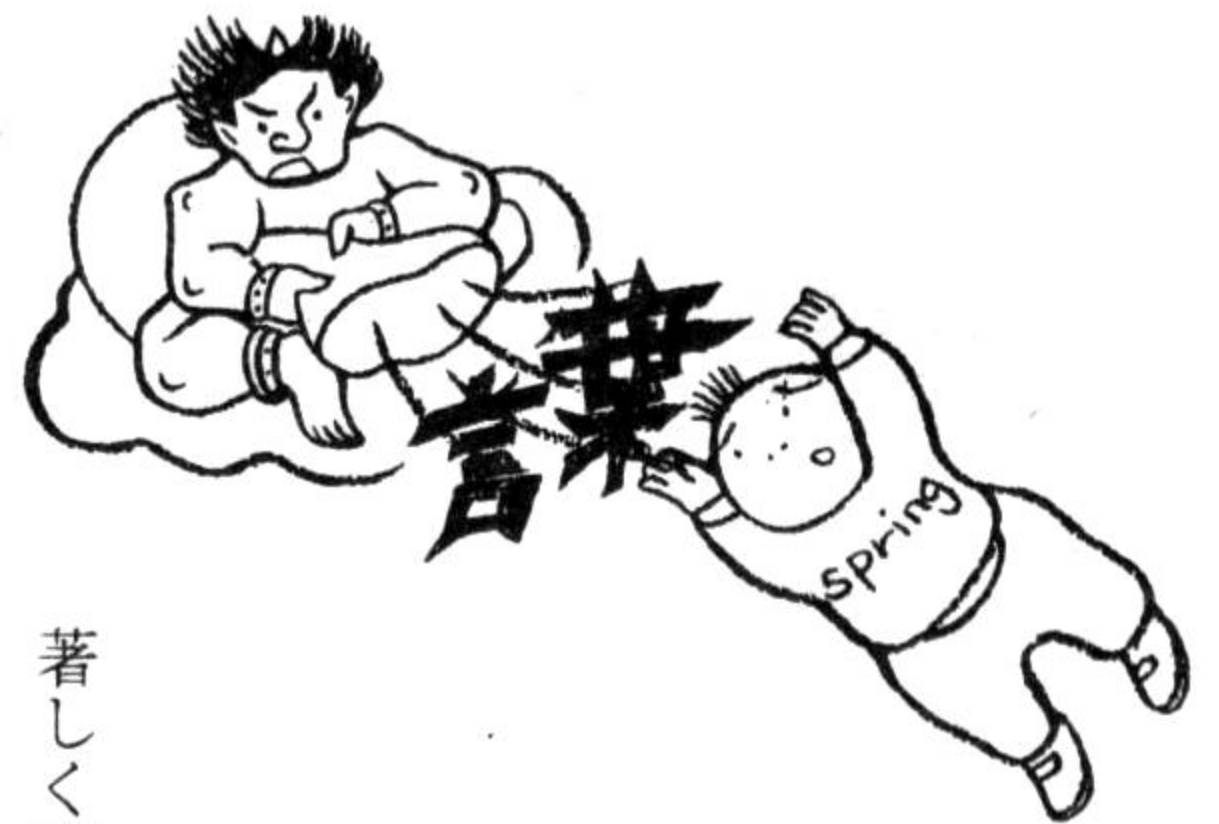


- 子どもの健康、安全の配慮を怠る。子どもの意思に反して学校等に登校させない。重大な病気になっても医療機関を受診させない。乳幼児を家に残したまま度々外出する。乳幼児を車の中に放置するなど

- 食事、衣類、住環境などが極端に不適切で、健康状態をそこなわせるなどの無関心・怠慢
- 食事を十分に与えない、入浴させない、衣服など長期間ひどく不潔なままにする、極端に不潔な環境の中で生活させる。
- 子どもにとって必要な情緒的欲求に応えていない。
- 子どもを遺棄する。

心理的虐待

言葉によるおどかしや拒否的態度
などで子どもの心を傷つける行為



- ことばによる「おどかし」など
- 子どもを無視したり拒否的な態度を示すことなど
- 子どもの心を傷つけることを繰り返す
- 他の兄弟姉妹と著しく差別的な扱いをする

長野での現状は？

中央児童相談所の虐待についての
相談件数は年々増加しています。

また昨年に比べ高年齢層（中、高
生）の被虐待児数が増えてきている
のも特徴です。虐待の分類で多いの
はネグレクトといわれる養育、監護
の怠慢が多いそうです。そして虐待
者は実母が圧倒的に多いそうです。

学校の先生が気がつくのは「ネグレ
クト」や「言葉による虐待」。

長野市の小学校の養護教諭の先生
にお話を伺ったところ、学校現場で
は、身体的な虐待よりも目に見えな
い虐待、ネグレクト等（食事を与え
ない等の保護の怠慢）や、言葉によ
る虐待が圧倒的に多いとのことだ
す。では、こうした目に見えない虐待
を早期発見するためにはどうしたら

しつけと虐待のちがい

	支配型虐待 (abuse)	しつけ	放任型虐待 (neglect)
行為の目的	・親の期待通りの行動をとらせる「他律的コントロール」	・理性による「自律的コントロール」	・親の都合が優先 ・結果としての状態
手段	・命令、押し付け ・暴力または脅迫、期待	・話し合いによる理解	・ほったらかし ・子どもの言いなり
子どもの人格	・認めない	・尊重	・放任 ・「子どもに任せている」と言う親も
親と違う意見	・表現できない	・できる	・できる
親の常套句	・「親の言うことを聞け」 ・「おまえのため」	・「きちんとしろ」	・「勝手にしたら」
社会規範	・無視または絶対化	・常に意識	・無視
他人の援助	・拒否	・受け入れ ・一応考慮	・拒否
子どもへの影響	・ロボット（操り人形） ・支配-被支配の人間関係 ・迎合と弱い者いじめ	・自己決定と自己責任 ・安定した情緒交流	・わがまま ・人間関係が希薄 ・空虚感

出典：安部計彦「ストップ・ザ・児童虐待」



人対策に取り組む

長野県中央児童相談所

長野県内5箇所にある児童相談所
は児童の福祉を増進するためのあら
ゆる相談に応じていま
す。

相談業務の中にも面
接相談、電話相談、訪
問相談、巡回相談等、
また一時保護所を通年
開所。医学診断（精神
科診断、神経科診断、
内科・小児科診断）。
児童問題に対する市町
村ネットワークの強化。
里親の育成指導。
児童相談所は「子育
てへの思いを一緒に考
えるところです。子育
てに悩んだら気軽にこ
相談下さい」とおっしゃっ
ていました。ただ予約
が必要なため一度お電
話下さい。とのことだ
す。



民間団体

ながの子どもを虐待から守る会



平成9年『ながの子どもを虐待から守る会』を立ち上げました。常々、児童虐待は医療現場だけの問題ではなく、さまざまな虐待関係者の理解とネットワーク作りが必要なのだと強く感じていたからです。

現在、数々の講演会の開催と、関係機関への啓発活動、週3回（火・木・土）の電話相談（子ども虐待ホットライン）などを行っています。

電話相談には、年間120件程の相談がありますが、当初の目的であった通報の電話は少なく、母親からの辛い心情を訴える相談が主となっているそうです。最近では、対面式相談（お母さんの心のホットライン）も始めています。

「私たちにも何かできますか？」の問いに、担当者の方は「守る会では電話相談のボランティアスタッフが来春から募集する予定です」と答えて下さいました。ただし対象は、子育て経験のあるお母さんで、電話相談養成講座を受講しなくてはスタッフになれないそうです。

この他、プライバシーの関係上、できることは限られてしましますが、虐待で傷ついた子供たちが入所している施設へのお手伝いなどは不足しているようです。

子育て中のお母さん、お父さんへの声掛けもとても有効だそうです。「通報も大事ですが、どうしたの？」

と話を聞いてください。その場合、専門家は必要ありません。一生懸命聞いてくれる人が必要なのです」

最後に一言をお願いすると、優しい口調で、しかしキツパリと「おせっかいの力ですかね」。守る会では随時、正会員、学生会員、賛助会員を募集しております。これも簡単にできるお手伝いではないでしょうか？

取材/丸山由紀子

民間団体

CAPながの



子供が暴力に「ノー」と言うことを目指すCAPの活動。「CAPながの」は三年半前にスタートし、現在は正会員約20名。学校や公民館などで大人ワークショップ、子供ワークショップ（体験型学習会）を行っています。今までに三千人以上が参加し、今年度は文部科学省の助成金を受けて充実した活動を行っています。

子供ワークショップでは、参加者とのやりとりの中で子どもの権利（安心、安全、自由）を守ることを大切に伝えていきます。さらに子どもを加えた寸劇では、権利を守る対処法「ノーと言う」「その場を離れる」「誰かに話す」ことへの理解を進めます。「上級生から毎日カバンを持って強要された」などの具体例を寸劇で見せられた子どもたちは身につまされ、単に知識として伝えられるよりも理解できるといいます。大人ワークショップでは、子ども

ワークショップの内容の説明や再現に加え、大人にはなにができるかを考えていきます。子どもが嫌な目にあつたことを話してくれたら、じっくり聴き、

「話してくれてありがとう」

「あなたを信じるよ」

「あなたは悪くない」

と言つてあげることが大切であると伝えていきます。私も2年ほど前に大人ワークショップに参加しましたが、参加後は自分の子や近所の子が学校の話をしてくれた時などに、「話してくれてありがとう」というようにしています。

会の中沢悦子さんの「子どもの安全には、コミュニケーションの大人たちが子どもたちをサポートすることが不可欠」という言葉と、人をつつみこむような温かさが印象的でした。

取材/丸山いづみ

小学校

保健室



「もし、虐待じゃないか？と思つたときに市民ができることは？」

「まず通報してください」とキツパリ。もし違つたら？ということは考えなくていいそうです。また、通報したことが相手に知られるかも？という心配も、「通報者のプライバシーは完全に守られ相手方に知られる心配はない」と断言されました。

もし虐待の疑いをもつたら、学校に連絡してもらってもいいとのこと。あそこでよく泣いてるとか、あそこ

に縛られているとか、夜よくお墓にいらつた地域の目も非常に大事だそうです。

「気になるんですが」といつてもらう分には、まったくかまわないとのことでした。

また、子育ての大変さを少しでも軽減するために、地域のおじいちゃんおばあちゃん、といった方たちにもっと活躍してほしいそうです。お茶を飲みながら、お母さんの話をゆっくり聞いてほしい。また、お父さんたちも仕事で忙しいのは分かるけど、と前置きをした上で、「二人で子育て」をしてくださいと話しています。

学校の行事に二人で参加するとか、子供と遊ぶとか、二人でという部分を忘れてほしくないと。最後にこれから母親になる方たちには「1週間でいいから、子育て体験をしてみたい。どこにいくのでも一緒。トイレに行くのもお風呂に入るのもご飯を食べるのも肌身離さず」という体験を通して子育ての大変さ、いのちの重さを実感して欲しい」とおっしゃいます。また最後に「お母さんたちには、CMのように子供を抱きしめてあげてほしい。お腹の中にいたときのよう、抱きしめて欲しい」と力を込めておっしゃっていました。

取材/滝沢綾乃



新潟県中越地震 災害支援報告

十日町市で炊き出し支援

新潟中越地震により、大きな被害を受けた被災地への支援が活発に行なわれている。長野市ボランティアセンターでも、10月28日(木)に長野市ボランティア連絡協議会の災害支援委員会を中心に十日町市で炊き出しによる支援活動を行なった。

余震に怯えながら…

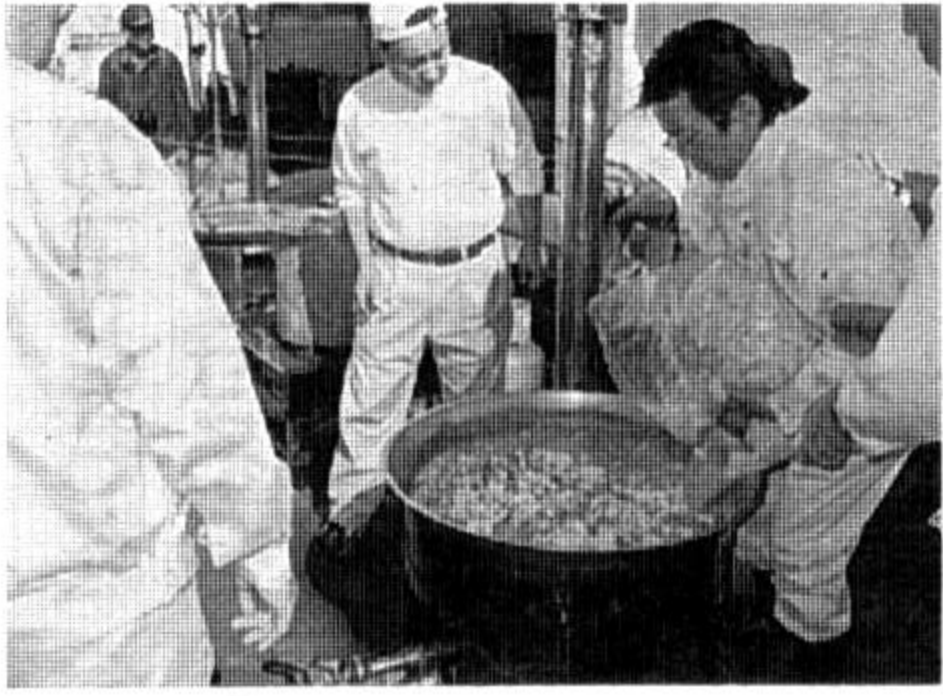
今回、活動を行なった十日町市は他の被災地と比べるとそれほど深刻な被害は出ていないようだが、市内各地の避難所では多くの方が余震の恐怖に怯えながら不自由な生活をおくっている。

心配された食料も、全国各地から支援物資が届けられ、比較的豊富にあるようではあるが、温かい食事が少ないとのこと、今回は「すいとん」を調理することになった。

特製「すいとん」大好評!

炊き出し会場となった下条(げじょう)中学校では、千曲福祉センターのスタッフを中心に手際よく調理作業が進められた。

支援物資のほとんどが保存食品のため、温かい食事は久しぶりということ、被災者のみなさんには大変好評をいただいた。



大鍋3つに用意された約五百食分のすいとんはあつと言う間に無くなってしまうた。

完全復旧まではまだ遠く

この日は日差しもあり、日中は暖かかったが、朝晩は相当冷え込みが厳しいようである。

生活面では水道が止まっている状態が続く、入浴やトイレの使用に支障が出ている。特にトイレは衛生面からも早期の改善が望まれる。

ボランティアの状況は?

今だ危険な状況に変わりはないが、復旧作業が本格的に始まれば、家屋の片付け等のニーズが増加すると思われる。現時点では災害対策本部、災害ボランティアセンターに集まった救援物資の各避難場所への搬送と避難所のニーズ把握のボランティアが必要ということである。

長野市ボランティアセンターでは、今後も継続的な支援を行なっていく予定である。



グリーンノート

こぼし種



今頃、足元を彩るサフランの美しさに驚かされています。あまりの美しさに庭じゅうも止まっています。

今年は台風が多くしかも大型で、作物を育てている方には深刻な状況です。自然への畏敬の念はますます強くなります。悪天候と時間のなさにほっておいた庭、それでも着々と小さな営みを忘れていません。枯れ始めた株元に新芽がすでに育っていたり、種が実っていたり。種といえ、こんなこともよくします。こぼれ種ならぬ、こぼし種。必要な分を収穫した後、ただこぼしておくだけ。でも居心地がいいと来年もちゃんと芽を出します。グリーンクラブ 徳永

スタッフ日記

つい先日ちよつと変わった雑誌をスーパードでみかけて以来、その雑誌のとりこになって3ヶ月目。『小さな町へ』と題されて「頑固姉妹が『夏至』を迎えた日」と小布施町が同時に取り上げられていた。人の目が「都立」に向きがちな昨今、こんな風に地方の文化を取り上げた雑誌はなかったのではないだろうか。しかも今回は長野が2箇所も取り上げられている! 『Kai-net』マガジンハウス刊9月18日発売号。価格680円。(A)

あやめ会

隣のボランティア 第35回

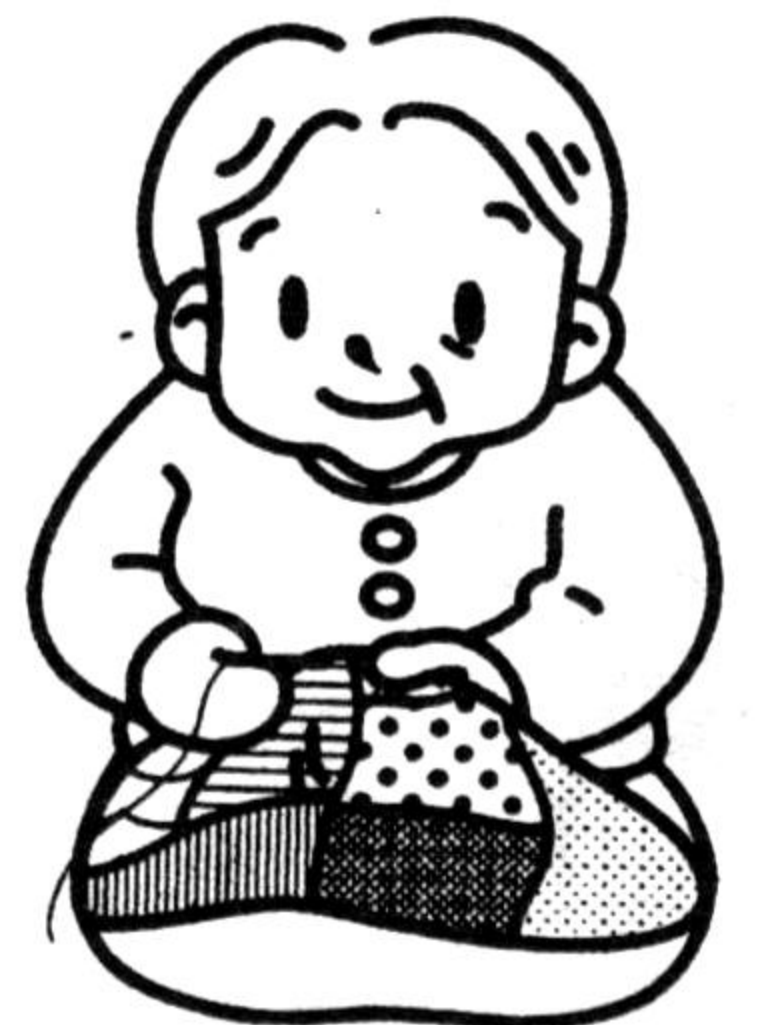
グループ名

あやめ会

「古くなったバスタオルで足ふきマットを作りましょう」の講座を機会に発足したグループです。足ふきマット、バック等の材料すべてをリサイクルで仕上げますが、新品に劣らない素晴らしい出来ばえです。環境フェアで、製品の販売を行います。

またリフレッシュプラザ「夢工房21」では、足ふきマット、裁縫道具入れづくりの講座を開いて大勢の皆様が再活用を実感していただいています。

紹介者 すみれ会

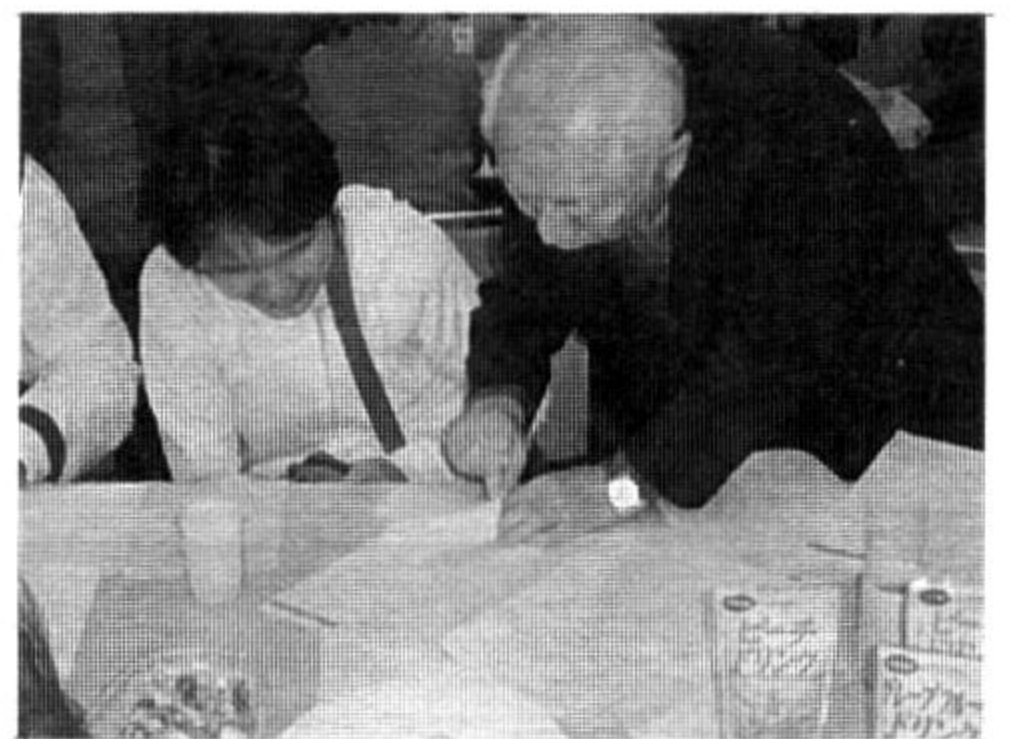


ボウセンだよい

ボランティアサロン 開催中

9月より始まった、ボランティアサロン。何かしたいんだけど、何か始めればいいのか分からない、何ができるかわからないという初心者の方と、実際に活動を展開しているアドバイザーの方が一緒にお茶を飲みながら、気軽にお話し出来る場になっていきます。アドバイザーならではの情報やボランティア観が聞けたら、思いもかけない活動が見えてき

たりします。第3回目は点訳グループでんとう虫の協力の下、参加者一同点訳に初挑戦！自分の名前を点訳しながら、できた！できない！間違えた！等々、賑やかな声が聞かれました。次回は11月10日（水）午後2時～3時です。



ボランティアアドバイザー講座が終了しました！

6月から始まった講座（全8回）が終了しました。最終回では今後の活動内容について検討をしました。長野市ボランティアセンターと連携をとりつつ、相互のネットワークを活かし、ボランティアへの「誘い役」「後押し役」として地域の拠点で活動するアドバイザーとしての意思を確認しました。今後



月1回のアドバイザー定例会を開催し、市内の情報やアドバイザーとしての対応のケース検討を行っていかうと考えています。

ボランティア活動市民会議に向け準備も大詰めに

ボランティア・市民活動と行政との協働関係の構築、役割分担の新たな方向性を見つけ出し、提言する場として、11月13日（土）午後1時30分より長野市ふれあい福祉センターにて「第7回ボランティア活動市民会議」を開催します。



現在3つの部会に分かれ「地域の活動の場づくりについて」「防災・災害ボランティア活動について」「ボランティア活動の課題について」をテーマに準備が進められています。皆さんの参加お待ちしております。

長野市ボランティアセンター 11月の相談現場

10月23日新潟中越地震発生からのボランティアセンター相談現場は市民からの問合せでこった返した。

25日には事務所内のボードに災害支援関係の情報が張られ、市民の方からは物品寄付や活動の申し込み、問い合わせが入り始める。ボランティアの災害支援委員から炊き出しに行こうと言う声が上がります。現地に問い合わせ、暖かい汁物が欲しいとの声が返ってくる。食材、車の手配をどうするか、資金はゼロ。企業に呼びかけ支援を募り、車は長野市に交渉する。

26日には、T社が食材食器等企業に呼びかけ調理配達までOK。ガスの寄付や、長野市から車が出る事になり炊き出し隊が編成される。一方、物品寄付やボランティア活動についての問い合わせが殺到。連絡先を伺い後日該当しそうな活動ごとに連絡をとる事にする。

27日は 明日の準備、打ち合わせ会。現地から物資受付休止の情報が入るが、市民の方からは提供申し込みが相継ぎ、出来るだけ義援金などの情報を伝えるが理解していただけない方もいた。

28日は、炊き出し部隊、早朝5時半荷物の積み込みを開始し6時出発。無事十日町で炊き出しをして、夕方6時すぎにセンターに戻る。

29日は今後の継続支援について検討する。緊急時のコーディネート難しさを改めて実感した一週間だった。

(取りまとめ期間:10月1日～10月31日)

相談件数	
ボランティアしたい	21件
ボランティア求む	15件
情報求む	39件
ボランティア活動支援	4件
ボランティア活動上の悩み	4件
よろず相談・悩みごと	7件
ボランティア保険・事故処理	2件
その他	13件
合計	105件

問い合わせ件数	
会議室予約	280件
伝言	222件
情報提供	351件
機材貸し出し	188件
チラシ・掲示板	179件
その他	389件
受付(よりいい会等)	777件
合計	2386件

ボランティア保険加入	
ボランティア活動保険	31件
行幸用保険	25件
在宅福祉サービス総合保険	0件
送迎サービス補償保険	0件
合計	56件

現場状況 10月分

催し

第7回ボランティア活動市民会議

ボランティア・市民活動の中から出てくる問題を取り上げる行政との話し合いの場。ふれあい福祉センターの夜間使用など、様々な提案・実現してきました。個人でも参加できます。

日時：11月13日(土) 13:00～

場所：ふれあい福祉センター5Fホール

問：第7回ボランティア活動市民会議実行委員会

TEL 026-227-3707

催し

外国人検診 通訳有。言葉の心配無!

日時：11月21日(日)/受付12:00～13:30

場所：長野中央病院 ※保険証不要

費用：大人¥1,500 15歳以下無料

問：北信外国人医療ネットワーク

TEL 090-4912-7936

催し

11月の月例情報市場

企業・NPO・ボランティアグループ相互の物品・資源・情報の交換会

参加費無料。

日時：11月24日(水) 15:30～17:00/場所：ふれあい福祉センター

問：ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク TEL 026-227-3707

催し

わいわい広場 勉強会

介護福祉士の資格取得を目指す方対象の勉強会。

日時：毎週(金)

場所：もんぜんぷら座

3F会議室

参加費：¥200

問：まごころ福祉サービス

山田

TEL 080-1085-9107

催し

障害者週間特別企画 地域生活ネットワークセミナー

テーマ『地域の一員として』

≡講演会&鼎談

「フィンランドの街角で」講師小島直子氏

「アメリカで学ぶ」講師竹内哲哉氏

鼎談「はばたく人たちへのメッセージ」

テーマ別分科会他「アートフラッグ・製作体験」

「SO' 初展示」。参加締切11月23日(火)

日時：11月27日(土) 10:00～16:30

場所：若里市民文化ホール

問：コーディネートプラザながの

TEL 026-285-1900

催し

朝鮮人日本人犠牲者追悼 のつどい

毎年11月11日に松代大本営地下壕跡地に集い、この工事で犠牲となった方々を追悼し平和の誓いを心に刻みます。

日時：11月11日(木) 10:30～12:00

場所：松代平和記念館建設予定地(松代町清野)

問：NPO法人松代大本営平和祈念館

TEL 026-224-1772

催し

ふれあい 大バザー

障害者支援施設ワークハウスちきりのバザー。

日時：11月21日(日)

場所：長野市民会館集会室

問：ワークハウスちきり

TEL 026-263-4059

催し

気軽に楽しく長続き 楽しいボランティアセミナー

お年寄りとの楽しい交流会を企画中!

日時：11月13日(土) 13:30～16:40

場所：長野市篠ノ井 やすらぎの園

問：特養やすらぎの園

TEL 026-293-2600

催し

ふれあいポン抜きゲームで遊ぼう!話そう!! ふれあい囲碁提唱者安田泰敏氏をお迎えします

楽しく誰でも参加できます。参加費無料。定員：100名

日時：11月14日(日) 10:00～15:30/場所：長野市障害者福祉センター

問：ふれあいポン抜きゲーム実行委員会 TEL 026-278-3533

催し

初心者のための ボランティアサロ

興味はあるんだけどどうすればいい?やってみたいんだけどなかなか...という貴方。実際の活動者とお話ししてみませんか?参加費無料

日時：11月10・24日(水)

14:00～15:00

場所：長野市ふれあい福祉センター

問：長野市ボランティアセンター

TEL 026-227-3707

催し

福祉の職場 説明会

福祉の職場への就職希望者及び、福祉の職場、資格、職種等について知りたい方対象。参加費無料。

日時：12月2日(木)

13:00～16:00

場所：メルパルクNAGANO

問：長野県福祉人材研修センター

TEL 026-226-7330

催し

高齢者 への虐待

痴呆性老人が地域で当り前に暮らすために何が必要でしょうか?

日時：11月14日(日)

10:30～16:00

場所：勤労者福祉センター

参加費：¥3,000

問：NPO法人

グループもみじ

TEL 026-227-4425

催し

日本文化体験教室

在県外国人と日本人が共に企画・運営・参加し、一緒に日本文化を体験しながら国際交流を深めます。

日時：9月～2月/参加費：別途

場所：もんぜんぷら座

内容：華道・書道・着付等

問：国際交流コーナー TEL 026-223-0053

催し

改正児童虐待法

～子供の明日を守るために～

講師：有吉法律事務所 有吉美知子氏
子供達のために皆で考えてみましょう。入場無料。

日時：11月20日(土) 10:00～

場所：長野県職員センター



問：ながの子どもを虐待から守る会

TEL 090-7283-5761

情報かわらばん

情報

いつも傾聴でんわ
なんでも気軽にお話ください

TEL 026-225-0404

月・土 14:00~18:00/水 14:00~21:00

問:長野市社会福祉協議会

長野市ボランティアセンター

いつも傾聴電話係 TEL 026-227-3707



催し

第26回長野県高校生ボランティア研究集会
「ファイブ!」~目指せ!つなげろ!ファイブリンジャー~

県内各地で活動する高校生による事例発表&シンポジウム他、分科会「プロジェクトX~車椅子復活の日~」「諏訪のいいところ見てみたいあるあるたんけん隊」など多数。今年は諏訪市で開催します。

日時:11月27日(土)~28日(日)/締切:11月12日/参加費:¥8,000

問:長野県ボランティア・市民活動振興センター TEL 026-226-1882

催し

家庭教育
講座

「無限の可能性を持つ
子供達」参加費無料。

日時:11月18日(木)

10:00~12:00

場所:ふれあい福祉センター

問:信濃家庭教育

研究所 高澤

TEL 026-234-6554

情報

定例会の
お知らせ

聞こえない人と共に活動する中で
手話を含めた様々なことを学ぶ場。

会費¥2,500、ボランティア保険¥500。

障害者福祉センター毎週(金)10:00~

ふれあい福祉センター毎週(火)18:30

篠ノ井公民館毎週(木)18:30~

問:長野手話サークル

fax 026-268-3827

情報

FMぜんこうじ
11月の出演者は?

毎週(木)12:45~55<76.5MHz>

11日 ボランティア・市民活動会議実行委員会

ボランティア・市民活動会議開催広報

18日 北信外国人医療ネットワーク

外国人検診開催及びボランティア募集

25日 長野県ボランティア・市民活動振興センター

長野県ボランティア市民活動研究集会実行委員募集

問:長野市ボランティアセンター/TEL026-227-3707



情報

2005年加ワタ -発売中

B5版タイプ ¥300、二つ折りタイプ ¥400

ご注文に応じて貴方の描いた絵や写真でオリジナルのカ
レンダー、絵葉書、カードの作成もOK!ふれあい福祉セン
ター1Fふれあい喫茶及びもんぜんぷら座で発売中。

問:PCワークくらら 北郡 TEL090-3585-6262

催し

つぼで家族の健康づくり

冬場に向けての入浴事故と好ましい入浴法の秘訣

講師:東京ガス・福祉住環境コーディネーター荒井悦子氏

質疑応答・個別健康相談有。参加費無料。

日時:11月29日(月)/締切11月27日/場所:西部保健センター

問:鍼灸サートビク外リ21会 近藤 TEL 026-228-8730

催し

ごはん食推進活動支援事業

「いきいき家族の食事、大切な子どもの食事」/「お母さんとあ
かちゃんの食事」/「自分の食事は自分で作ろう!」参加費無料

日時:11月~H17.1月迄各3回/場所:ふれあい福祉センター

問:ながのこどもの城いきいきプロジェクト TEL 026-225-5467

情報

軽福祉タクシー
増車へ!

車椅子専用の軽福祉タクシー、初乗り¥640です

問:長野タクシー株式会社 TEL 026-227-2222

情報

「連合・愛のかパ」

準備支援金を助成します

主に生活支援...自立支援を目的として、平成15年12月1日以降
事業立ち上げ或いは具体的に設立や新規サービス立ち上げ・準備
に入っている団体・グループが対象。締切:11月30日(火)必着

問:(財)さわやか福祉財団 連合・愛のかパ立ち上げ支援プロジェクト

担当:久保 TEL03-5470-7751

催し

いわさきちひろの世界

講師:長野県信濃美術館館長松本猛氏

日時:11月18日(木)14:00~16:00

場所:八十二別館/参加費:¥1,000

問:(財)八十二文化財団 TEL026-224-0511

情報

虐待?しつけ?
悩んだらお電話を!

ボランティア相談員がお受けします。
プライバシー厳守します。

TEL 026-238-2888

火・木・土 10:00~14:00

問:ながの子どもを虐待から守る会

TEL 026-226-4131



情報

会場、
つかえます

ボランティア活動者の打ち合
わせに使えます。要事前
申込。

問:松代ふれあい交流

ひろば 担当:西沢

TEL 026-278-0050



催し

生産者が語る
原木しいたけへのこだわり

生産者のお話を聞き、生産から見えてくる食
の安全と安心、自然との共生について語り合
いましょう。協力は西輝昭氏。

日時:11月16日(火)10:00~12:00

場所:ふれあい福祉センター 4F-2

参加費:¥500/定員:30名

問:NPO法人「みどりの市民」

担当:渡辺

TEL 026-229-7731



求む!

出会いをつくる
新鮮!! 情報紙

ボランティア

します!

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513 <http://www.vnetnagano.or.jp>
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

求む

**雪かきボランティア
地域お助け隊**

地域で暮らす高齢者や障害者が冬、一番困るのが『雪かき』です。誰もが安心して暮らせる長野市の実現に、貴方のお力を貸してください。



長野市ボランティアセンター Tel 026-227-3707

求む

**アートフラッグムーブメント大募集中!
スペシャルオリンピック(SO)応援企画**

知的バディのあるアスリートが、競うのではなくスポーツを通じて自己表現を図るスペシャルオリンピック(SO)をアートで応援します。白いシートに人型を写したら後は自分の感性で彩るだけ。受付期間11月30日(火)迄。講師派遣いたします。ご相談ください。本企画で使用する洗濯済みのシート、アクリル絵の具、刷毛、ローラーがありましたらご提供をお願いします。

問:長野県ボランティア・市民活動振興センター Tel 026-226-1882

求む

**障害者の自立生活支援ボランティア
ワークハウスちきりは障害者支援施設です**

入所者で立ち上げた本クラブは、今まで海水浴に行ったり、小海線に乗って駅弁を楽しんだりという行事の中に一人で切符を買う。一人で買い物をするという自立訓練を組み込んできました。11月は実際に地域で暮らしている先輩のお話を聞きに、12月は温泉と杉竹を楽しみたい!僕達と一緒に街に出てください。

問:ワークハウスちきり Tel 026-263-4059

求む

**喫茶・お話相手
ボランティア**

入居のお年寄りに飲み物を出したり、お話相手になってくださる方募集。

問:権堂シニアホーム・昭和
マネク Tel 026-232-1005

求む

**入居
ボランティア**

高齢者の方や希望者にバドミントンやエステ、メイク等行います。

問:EBSボランティア事務局
山下
Tel 090-1865-5891

求む

**私達と一緒に活動しませんか?
障害者が、パソコンを使って働くプロジェクト団体**

当団体で働きたい方、サポートして下さる方求む。

問:PCワークから 北郡 Tel 090-3585-6262

求む

**長野県ボランティア・市民活動研究集会
実行委員の募集について**

本会では新しい時代を迎えたボランティア・市民活動の現状と課題を学びあう為に標記研究研修会を企画。広く実行委員を県内から募集中。

◆2004長野県ボランティア・市民活動研究集会(※予定)

日時: H17. 1月29日(土)~30日(日)/場所: 長野市

問:長野県ボランティア・市民活動振興センター

Tel 026-226-1882

次号かわらばんは12月3日(金)発行予定です。掲載希望団体は、11月19日(金)迄に原稿をお寄せください。

長野市ボランティアセンター vc103@vnetnagano.or.jp

Tel 026-227-3707/fax 224-1513



求む

**ダンスで元気にハッピー
になりませんか?**

ハッピーダンス体操は毎週(土)、ハッピー社交ダンスは毎週(月)中高年齢者対象。

参加費: ¥300

問:ハッピーサークルながの 若山

Tel 026-224-1254

求む

**外国人検診ボランティア
在県外国人支援団体です**

受付や通訳、会場案内やバビシッターなど。県内各病院で実施。

日時:10月24日(日)~12月12日(日)

※長野市:11月21日長野中央病院

問:北信外国人医療ネットワーク

Tel 090-4912-7936

求む

**バザーで使います
新品の日用雑貨をご寄付ください**

バザーの収益金は社会福祉貢献活動団体へ助成されます。新品の雑貨をお寄せください。

問:長野市社会福祉協議会 地域福祉課

チャリティーショーとバザー係

Tel 026-227-3030